

大草谷津田いきものの里 自然観察会

野鳥は森の音楽家

木下順次（千葉市）

日 時：2012年12月16日（日）10時30分～12時00分 天候：曇り

参加者：大人18名 子ども1名

担当指導員：和仁道大・木下順次

昨年と打って変わって、今年は来るべき鳥が来るべき時期にしっかり来てくれており、野鳥観察をするには大変恵まれた年となりました。当日は、途中からやや風が出てきたものの、全く気になるレベルではなくバードウォッチングにはとてもよい一日となりました。年が明けるとそろそろ聞こえ始める囀りには、まだ時期が早いものの、ウソやヒガラ、キクイタダキなど普段の年にはあまり見られない野鳥も千葉市各所で頻繁に見られているという情報もあり、ここ大草でも見られるだろうか、時間前から集まった参加者のみなさんと話をしました。また、入口広場で参加者のお一人が空高く猛禽類が飛んでいるのを見つけましたが、きちんと尾羽の形状がバチ型であることを捉えてくれたためトビであることがわかりました。さて、今回はCDプレーヤーと「CD 声でわかる山野の鳥（日本野鳥の会）」を持参し、大草で見られるであろうと思われる野鳥の鳴き声をいくつか聴いていただいでから出発です。

メジロンバに下りる杉林の小道の途中で、シジュウカラかと思っただけで観察を開始した鳥がどうも鳴き声も違うし、体色や柄も違うしなんだろうと注意してみると、早速キクイタダキと思われる鳥でした。薄暗がりやや見づらい状況でしたが、頭が白っぽいこと、シジュウカラよりのやや小さく、枝にぶら下がるように採餌していたこと、鳴き声が細く高い、シジュウカラの地鳴きとは全く異なるものだったため、キクイタダキであろうと説明をしました。

順路を進んでも、直前におこなった下見の時ほど頻繁には鳴き声が聞こえず、その理由もよくわかりませんでした。複数の目と耳で探すことで、コゲラのドラミングを観察したり、アオジやウグイスの地鳴きを確認することができました。

今回はいつもとコースを変えて、メジロンバから右折して登りの観察路を進みました。直前まで参加者には意図を告げず、さらにコースを外れて鳥を探しながら進み、開けた高台まで来たところで、台地の向こうに霞んで見える富士山を紹介しました。鉄塔や市内のビルの間から見える富士山に、皆さん「こんな林のハズレからも富士山が見えるんですね」とびっくりしていらっしやいました。

普段と違うコースをとったため、時間も残り少なくなり、下ん畑の雑木林の中を足早に進んでいたところ、ウソの特徴のある口笛のような鳴き声が聞かれました。やや遠いところにいたため、全員が見られたわけではありませんが、ウソの姿を目撃できた参加者もいました。

谷津田に下りてからはあまり時間がなく十分な観察ができたとは言えませんが、モズの特徴のある声が聞こえたり、キセキレイのきれいな姿を観察できたりしましたので、様々な環境の中でいろいろな野鳥がすみ分けていることを理解していただけたと思います。

《今回見られた野鳥》

トビ、キジバト、ヒヨドリ、コゲラ、キセキレイ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、シロハラ、ウグイス、キクイタダキ、シジュウカラ、メジロ、アオジ、ウソ、シメ、ハシボソガラス、ハシブトガラス 以上19種。